

SIW 行動指針

当社の社員は、「使命・決意・土台となる考え」ならびに「7つのお願い」、「姿勢のルール」、「事業活動での基本ルール」に従って行動します。基本的なことばかりです。でも知っていることと出来ていることは大きく異なります。私達は、知っているだけでなく実行する人になります。

【社是】 真剣 誠実 融和

命をかけるほどの思いで

事にあたるならば道は必ず開かれる

社是とは、会社で仕事をする上で一番基礎となる考え方であり行動指針でもあります。創業者である榛葉寿太郎が創りました。わが社の社員として、一番に守るのはこの考え方と行動です。

【社長の7つのお願い】

1. 絶えず創意工夫する

昨日よりは今日、今日よりは明日と常に前進するためにああしよう、こうしようと考え続ける。そこに仕事の飛躍が生まれる！

創意のもとになるのは、教養である。

そこに人が勉強し、幅広い人間的教養を積んでいく意義と必要性があるのである。

2. 現場を変える5つのアクション

分ける:カネになるものとカネにならないものとを分けて知らせること。

捨てる:多く人は捨てるのはもったいないという。しかし

捨てて困ったことはあまりない。

測る:具体的な数字を測り、現場に突きつけると生産性は向上する

決める:右手でボタンを押すと決めたら、絶対に左手を使ってはいかない

見せる:見せることで、本気度が伝わり、事の重大性、問題の深刻さが分かる

3. 松下幸之助氏がこんなことを言っている。

「2階にのぼりたいなあ！！ではまだまだだめである。なんとしても2階にのぼりたい！そんな熱意がはしごを生み出す。」

「2階にのぼりたいなあ」とは誰もが思う。しかしその程度の想いでは、2階にのぼることはできない。「なんとしても」という熱い思い、たぎるような思いがあつて初めて、2階にのぼるためには こうしたらどうだ、ああしたらどうだと昼も夜も考え詰めることができ、「はしご」という手段、方法に思い至るのである。

4. モノ、モノ、モノ 見渡せばモノだらけ

作戦1. 在庫を減らす

作戦2. 標準をつくる

作戦3. 不良品を減らす

作戦4. モノの流れを一定にする

改善のポイントは以上の4作戦を速やかに確実に徹底的に実行することである。

5. “飲水思源”水を飲んで源を思う 古都 敏

お客様があつて初めて ここに今の自分があるのです

だから現場はショールームです。お客様が見てSIWのマフラーを買いたくなる現場を創り上げよう！1人ひとりがやる気でやれば必ず出来る。これが本当の営業です。

6. 辛抱 これは会社が社員に教えるべき重要なポイントです。

朝早くから夜遅くまで仕事をする。上司に怒鳴られ、時にはお客様にも叱られる。しかし、辛抱を教え忍耐力をつけない限り、仕事を通して成長することはありません。相澤賢二

社員が伸びなければ、当然会社も伸びない。ですからわが社では、目標は常に少し困難なところに設定して、叱咤激励しながら、社員の挑戦を促しています。

7. 会社というものは常に潰れようとしているものです。

おかしい方かもしれませんが潰れるチャンスやきっかけはいくらでもあります。相澤賢二

それを防ぐのが人です。だから社員は、常に成長しなければならないのです。
苟に日に新たに 日々に新たに 又日に新たなり

【姿勢のルールについて】

【挨拶をする】

- ・出勤時「おはようございます！」
相手の目をみて、自分から大きな声で挨拶をする。
- ・何かをしてもらった際には、
「ありがとうございます！」と感謝の気持ちを伝える。
- ・退勤時「お先に失礼します」「お疲れ様でした」と大きな声で伝える。
- ・大きな声とは、見える範囲で一番遠くの人にも聞こえる大きさのこと。

【時間・納期を守る】

- ・始業時間を守り、始業と共に100%の状態で行事をする。
- ・会議、打ち合わせの開始時間を守る。
- ・1分1秒を大切にす。

【清掃】

- ・毎日の5Sタイムには身の回りの清掃、整理整頓をする。
- ・ゴミを見つけたら拾う。
- ・トイレ、洗面台を汚したら、自分で掃除する。
- ・現場の白線を踏まない。
- ・掲示物は、いつもきれいにすて置く。

【事業活動での基本ルール】

1. 公正な取引

私たちは、公正かつ自由な競争を妨げず、健全な市場を維持するために努力します。

2. 贈答・接待

私たちは、不適切な贈答や接待を一切行いません。

国によっては、民間組織間であっても不適切な贈答・接待が処罰の対象会社の中で政治活動を行ったり、政治活動のために場所や労力、その他の会社資産を提供することは、責任部門がその是非を判断して適切に行わなければなりません。

3. 政治活動・ロビー活動

私たちは、政治的な活動のために不正に会社の金品等の使用・提供をしません。また、不正なロビー活動には関わりません。

4. 反社会的勢力との関係遮断

私たちは、暴力団、マフィアなどの反社会的な勢力およびこれらと実質的に関わっている組織と一切関わりを持ちません。脅しや恐喝などを受けた場合には、すみやかに関係先に連絡するとともに、警察か司法当局に通報し指導をおおぎます。

5. 利益相反

私たちは、会社の利益を犠牲にして、私たち自身または第三者の利益を図りません。利益相反行為は、自分の職務の妨げになったり、会社の信頼を損なう原因となる可能性があります。また、会社の資産を私的に使用したり会社資産に損害をもたらしたりすることは、会社のビジネスに損失を与えることにつながります。

6. 輸出入管理

私たちは、輸出入に関して適用される法令・規則を守ります。

輸出入に関連する法令・法規に違反すると、会社が制裁金、輸出入の禁止・制限などの処罰の対象となるほか、従業員個人へも刑事罰が科される可能性があります。

7. インサイダー取引

私たちは、未公表の重要な情報を、自分または第三者の利益のために使用しません。インサイダー取引に関わる法令に違反した場合、従業員個人が刑事罰や行政上の措置といった厳しい処分を受けます

8. 情報セキュリティ

私たちは、お客様ならびに会社の機密情報を適切に管理し利用・保管します。榛葉鉄工所グループやお客様、お取引先の重要な未公表情報を、個人的な利益のために使用しません。

9. 個人情報保護

私たちは個人情報を定められた利用目的に従い正しく使用するとともに、紛失・漏えいすることのないよう十分注意して管理します。

10. 知的財産権の尊重

私たちは、会社の知的活動の成果を知的財産権として保護し、これを積極的に活用します。私たちは他者の知的財産権を尊重し、侵害しません。

11. 製品・サービスの品質と安全性

私たちは、高機能・高品質で安全な製品・サービスを提供します。性能・安全に関しては、契約に定めた事項のほか、法令・規則でも遵守事項が定められています。

12 人権の尊重

私たちは、すべての人々の人権を尊重します。

業務上で出会った人すべてに対し、公正に敬意をもって接します。(榛葉鉄工所グループ内の従業員同士だけではなく、お取引先やお客様、地域の人々、当社グループに就職を希望する人なども含む)

- ・個人の基本的な人権、個性を尊重します。
- ・高圧的、攻撃的な行為や悪意のある行為・ハラスメントを行わず、差別的または不適切な言動をとらないように注意します。
- ・性的な言動で相手に不快を感じさせるなど、職場環境を害さないようにします。